

つながる ひろがる

Link

パートナーズクラブ

2022.7 No.34



「豊饒の海」 撮影:石村 國男(福岡県宗像市在住)

つながる ひろがる
Link パートナーズクラブ

2022年7月 No.34

パートナーズクラブ事務局

〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞社 西日本会事務局内

TEL 092(711)5190 FAX 092(711)5199

西日本新聞・西日本スポーツのご購読申し込みは



0120-44-0120
フリーダイヤル

西日本新聞社



株式会社QPS研究所代表取締役社長
大西 俊輔 氏

九州の技術を宇宙ビジネスへ ～地域企業と行う世界トップレベルの人工衛星開発の今と未来～

西日本支店長会・パートナーズクラブの6月合同例会は、株式会社QPS研究所代表取締役社長の大西俊輔氏を講師に迎えました。「九州の技術を宇宙ビジネスへ～地域企業と行う世界トップレベルの人工衛星開発の今と未来～」と題して、同社の設立の経緯や事業展開などについて語っていただきました。小型レーダー衛星の1号機「イザナギ」を2019年12年、2号機「イザナミ」を21年1月に打ち上げ、最終的に36機体制で地球上を10分ごとに観測できる準リアルタイムのデータ提供を目指しています。

(講演日:2021年6月28日)

九州に宇宙産業を根付かせる

今日の講演会では、ぜひ九州に宇宙ビジネスが広がりつつあることを知つていただければと思ってます。

私が大学生の頃、世界中で小型の人工衛星を作ろうという機運が高まっていました。その機会にちょうど巡り合い、大学で宇宙機器や小型人工衛星の開発の経験を積んでいきました。九州には十数年かけて培ってきた地場企業と一緒にモノづくりをするという土壤がありました。この関係性をより一層発展させていきたいと、大学を卒業してからQPS研究所に入りました。

現在は、世界で誰も実現したことがない新しい小型のレーダー衛星でのリアルタイムの地球観測を実現するというプロジェクトを行中で、九州に宇宙産業を根付かせていくという第一歩が踏み出せたと思っています。今日は、その内容と、そこにあるまで、そして、九州の宇宙産業を紹介します。

QPS研究所のQPSとは、Q-shu Pioneers of Spaceの頭文字

九州に宇宙産業を根付かせることを目的にQPS研究所は誕生しました。九州には種子島や内之浦のロケットの打ち上げ場があるのに、ロケットやロケットに搭載される人工衛星は主に関東と東海地域で作られています。そして船で運ばれて、九州で打ち上げられる打ち上げ場がありながら、打ち上げるものを作る産業は主に九州外なのです。

先生方は宇宙産業の黎明期から携わっているので、宇宙といつても幾つかの条件をクリアできれ

CONTENTS

- 02 例会^①
Report 九州の技術を宇宙ビジネスへ
～地域企業と行う世界トップレベルの
人工衛星開発の今と未来～

株式会社QPS研究所代表取締役社長 **大西 俊輔氏**

- 06 例会^②
Report 最近の金融・経済情勢と金融政策について

日本銀行福岡支店長 **富田 淳氏**

- 09 例会^①
Report 福岡から、世界を変えるはじめかた

ソーシャル・グッド・プロデューサー **石川 淳哉氏**

- 13 2021年度 パートナーズクラブ 決算表

- 13 2022年度 パートナーズクラブ 役員

- 14 新規会員・会員異動(50音順)

ば基本的に作る方法は特殊なものではなく、企業の方々の技術と熱意があれば発展していくと考えていました。そして2003年ごろから九州中の地場企業に宇宙産業に参入しないかと声を掛けたまわり、そこで集まつた方々と一緒に検討・開発・製造を進めてきました。企業の方はそこから十数年宇宙産業に携わっているので、一朝一夕では得られない深い知識と経験があります。

大学の衛星開発は、発展していく上で問題点があります。学生が1~3年ごとに入れ替わるのでしつかりと知識を伝承していくことができない。学生は学ぶことが主なので、伝承までは難しいのです。

一方で地場企業の方は、基本的に卒業はありません。知識をどんどん蓄積できます。学生が新しく入ってきたら、企業の方が持っている知識をキャッチアップして、継続してモノづくりをする。そういう相乗効果を上げて、小型人工衛星を作る知識や技術をためていけるのです。

今まで小型人工衛星の開発プロジェクトだけでなく、他にもいろいろなモノを作っています。この小型衛星はとても高いのです。種類にもよりますが1機数百億円するのも。従来の大型衛星を数十機上げると1兆円を超えます。

どうやって打破したのかというと、世界トップレベルの100キロと小型で高精細のSAR衛星を開発したのです。SARとは、合成開口レーダー。カメラではなく、電波を使つて観測する衛星です。MRは体の中を見ることができました。ああいつた感じの技術です。それを宇宙からやつていこうというのが、この衛星です。

自分で電波を飛ばして、その反射で受けたデータを画像化すると、いう技術で、太陽の光は必要ありません。電波の周波数によつては雲も突き抜けます。これを使うと昼夜関係なく、いつでも観測することができます。

しかも、100キロ級と小さな衛星、従来の衛星と比べると、質量が20分の1で、コストは100分の1。機数億円なので、複数機打ち上げることも可能です。この小型のレーダー衛星を使いリアルタイムの地球観測を実現していくことをしています。

大学の衛星開発は、発展していく上で問題点があります。学生が1~3年ごとに入れ替わるのでしつかりと知識を伝承していくことができない。学生は学ぶことが主なので、伝承までは難しいのです。

一方で地場企業の方は、基本的に卒業はありません。知識をどんどん蓄積できます。学生が新しく入ってきたら、企業の方が持っている知識をキャッチアップして、継続してモノづくりをする。そういう相乗効果を上げて、小型人工衛星を作る知識や技術をためていけるのです。

今まで小型人工衛星の開発プロジェクトだけでなく、他にもいろいろなモノを作っています。この小型衛星はとても高いのです。種類にもよりますが1機数百億円するのも。従来の大型衛星を数十機上げると1兆円を超えます。

どうやって打破したのかというと、世界トップレベルの100キロと小型で高精細のSAR衛星を開発したのです。SARとは、合成開口レーダー。カメラではなく、電波を使つて観測する衛星です。MRは体の中を見ることができました。ああいつた感じの技術です。それを宇宙からやつていこうというのが、この衛星です。

自分で電波を飛ばして、その反射で受けたデータを画像化すると、いう技術で、太陽の光は必要ありません。電波の周波数によつては雲も突き抜けます。これを使うと昼夜関係なく、いつでも観測することができます。

しかも、100キロ級と小さな衛星、従来の衛星と比べると、質量が20分の1で、コストは100分の1。機数億円なので、複数機打ち上げることも可能です。この小型のレーダー衛星を使いリアルタイムの地球観測を実現していくことをしています。

私は子どものころから、宇宙が好きで、モノづくりも好きで、地球儀が好きでした。学校でのペットボトルロケット教室。これで、宇宙に行くモノづくりを経験。これが私が宇宙に進むきっかけになつたと思います。



日本銀行福岡支店長
富田 淳氏

最近の金融・経済情勢と金融政策について

新型コロナウイルス感染症は、世界経済に大きな影響を与えています。西日本支店長会・パートナーズクラブの7月合同例会の講師は、日本銀行福岡支店長の富田淳氏。「最近の金融・経済情勢と金融政策について」と題して、感染症の影響による世界経済と日本経済の動向、九州・沖縄の状況、それに日本銀行の金融政策について解説していただきました。急速に回復している海外経済に牽引される形で日本経済は回復基調ですが、感染症のデルタ株の影響と国際的な原材料価格の上昇がリスク要因と語りました。

(講演日:2021年7月29日)

海外経済の動向を把握するうえで役立つのが国際通貨基金（IMF）のデータです。コロナ禍の影響で、2020年における世界経済全体の成長率は前年比マイナス3.2%と大きく低下しましたが、21年の予測はプラス6.0%、22年はブ

急速に回復している米国経済
企業の皆さまにとっては逆で、マクロのデータを上手く活用することで、今の経済がどうなっているか、あるいは将来どうなるのかを正確に見通していくのではないかと思います。

急速に回復している米国経済

私たちもマクロのデータを見ながら、過去と足もとの経済を分析し、先行きを予測しています。分析のベースは遅れて出てくる過去の経済データとなりますので、先々をどう読むかについてはどうしても不透明感が残ります。そういうときに、企業の皆さまにお話を伺うことは非常に役立ちますし、大切なことだと思います。

企業の皆さまにとっては逆で、マクロのデータを上手く活用することで、今の経済がどうなっているか、あるいは将来どうなるのかを正確に見通していくのではないかと思います。

昨年8月、福岡に着任しました。福岡支店は九州・沖縄の景気判断を担当しています。当店ではほぼ毎月景気判断をしていますが、コロナ禍の中、「経済が回り始めたと思ったら緊急事態宣言が出る」という形で、見通しが立てにくい状況が続いています。

私たちもマクロのデータを見ながら、過去と足もとの経済を分析し、先行きを予測しています。分析のベースは遅れて出てくる過去の経済データとなりますので、先々をどう読むかについてはどうしても不透明感が残ります。そういうときに、企業の皆さまにお話を伺うことは非常に役立ちますし、大切なことだと思います。

マクロのデータを上手く活用することで、今の経済がどうなっているか、あるいは将来どうなるのかを正確に見通していくのではないかと思います。

QPS研究所は2017年11月に23・5億円の資金調達を実施し、これで1号機、2号機の開発・打ち上げをできました。

1年半ぐらいで1号機の「イザナギ」を作り上げ、インドで打ち上げました。打ち上げ翌日、初交信に成功。肝となるアンテナを4日後には展開させました。その後からレーダーのテストを実施。結果

QPS研究所は2017年11月に23・5億円の資金調達を実施し、これで1号機、2号機の開発・打ち上げをできました。

1年半ぐらいで1号機の「イザナギ」を作り上げ、インドで打ち上げました。打ち上げ翌日、初交信に成功。肝となるアンテナを4日後には展開させました。その後からレーダーのテストを実施。結果

QPS研究所は、今後も子どもたちに宇宙という産業があるん

として95%まで衛星機能の確認ができましたが、画像化する最後の段階でトラブルを抱えました。2号機の「イザナミ」では、その箇所を改良し、機能もアップ。今年1月25日に米国で打ち上げました。1号機からの改良点を加えたことで、2号機は画像取得に成功。70%分解能の日本の小型SAR衛星の中では一番高精細な画像も発表しています。

公表した米国・サンフランシスコの観測画像を見ていただくと、高層ビルの各階層まで見えていました。港の船や出荷される車が1台、1台見えるので、台数がカウントでき、出荷するメーカーの生産能力のデータとしても使えます。レーダーを使えば、鉄道や鉄塔、ダムといったインフラの状況をいつでも把握できます。

さらにデータはAIと一緒に活用することもできます。宇宙からリアルタイムで観測データを取つて他のデータと合わせることで過去のパターンを分析し将来の状況予測も可能になると思います。

この後、2022年にさらに4機打ち上げて、複数機の体制で約1・5時間に1回の観測ができるようになります。2025年以降に

私は小さいころから宇宙に興味を持つて、この業界に入りました。次の世代の子どもたちは、さらに進んで宇宙に行くことに抵抗なく過ごす世代になるのではないか、もしかしたら、実際に月や火星に行くことも出てくるのではないかと思います。

QPS研究所は、今後も子どもたちに宇宙という産業があるん

36機で約10分ごとに撮れるようになります。すべてが宇宙から分かるわけではありませんが、広い地域の状況を一度に把握することに長けていますので、衛星のデータ活用法は強い関心を持たれています。6月にJAXAと九州電力との連携を発表しました。九州電力は私たちのデータを元にインフラの管理を行います。業務の効率化を進めているうことで、まさに九州の中で宇宙産業を盛り上げていく気運が高まってきたのです。

九州電力との協力で、モノづくりから利用まで、九州内での宇宙産業のサイクルが強化されました。利用が広がれば、産業として伸びていきます。ここを足掛かりに、九州の宇宙産業をさらに発展させていこうと考えています。

私は小さいころから宇宙に興味を持つて、この業界に入りました。次の世代の子どもたちは、さらに進んで宇宙に行くことに抵抗なく過ごす世代になるのではないか、もしかしたら、実際に月や火星に行くことも出てくるのではないかと思います。

QPS研究所は、今後も子どもたちに宇宙という産業があるん

おおにし 俊輔
大西 俊輔

佐賀出身。九州大学大学院航空宇宙工学専攻博士課程修了。博士（工学）。大学院在籍時の2008年5月より、QSAT-EOS（九州大学を中心とした九州地区的大学・企業による50kg小型衛星プロジェクト）のプロジェクトリーダーとして、14年に成功に導く。「九州に宇宙産業を根付かせる」という恩師の想いを引き継ぐために13年10月に有限会社QPS研究所に主任研究員として入社。14年4月に同社の代表取締役に就任し、現在に至る。

と僕が取った方法は何かと言いましたと、仲間を集めてワイン会を開いたこと。広告を集めたのではなく、「みんなで社会課題を解決するためにはメディアの役割を与えてください一緒に作りませんか」とワイン会をやつたのです。驚いたことに協力してくれる会社が集まつたのです。「みんなで社会課題を解決するためにはメディアの役割を与えてください一緒に作りませんか」とワイン会をやつたのです。驚いたことに協力してくれる会社が集まつたのです。『フラウ』の採算分岐点を超えて出版することが叶つたのです。表紙は綾瀬はるかさん。丸ごと一冊SDGsを扱い「再生可能エネルギー」「大豆由来のインク」「認証紙」で印刷されたこの号は大変話題になつて、重版を2回しました。雑誌の世界でしばらくなかつたことです。

なぜSDGsなのか。社会課題解決のための一冊まるごとの本がなぜ売れたのかという研究が始まつて、いろんな所から取材にきました。雑誌協会の「広告賞運営委員会特別賞」の金賞をいただきました。それから、9冊ほど続いています。今では、1冊出すごとに何千万円か集まっています。それは広告費というよりは、一緒に課題を解決するための協賛金として集まっています。

これを作るときに、編集部と一つだけ約束をしました。「北風と太陽」というイソップ寓話がありました。雑誌の世界でしばらくなかつたことです。

3. なぜSDGsなのか

SDGsは、再生可能エネルギー、資源循環、環境保全、人権尊重など、世界中で取り組むべき重要な課題です。しかし、多くの人がSDGsを知らないままでは、行動に移すことは難しいです。そこで、SDGsの導入を通じて、企業や地域が持つべき姿を明確にし、実現可能な目標を設定することで、SDGsの実現を目指すことを目指すものです。また、SDGsの実現によって得られる社会的・経済的・環境的効果を認識し、SDGsへの取り組みを通じて、人々の意識や行動が変化する。これが、SDGsの目的であるといえます。

NPOや環境活動家は正しいことを言つてゐるのですが、「あれは駄目、これは駄目」。これではみんなに伝わらないのです。『フラウ』は、女性が受け取りやすい情報で、太陽アプローチ。暖かいからコートを脱ぎたくなる。そんなアーチを徹底的にやろう、と。いろんな人と一緒に社会課題を解決していきたい、そんな気持ちをこの本の中に込めています。

そうしたら、何が起つたのか。講談社は雑誌を出すだけではなく、ウェブ、共創プラットホーム、メディアフレーム、自治体コンサル、シンポジウム、ツーリズム、EC、展示会、講演、アワード、いろんな形で、新しいビジネスチャンスがでています。まだちゃんとしたい形にしきれていない部分もあるのですが、SDGs雑誌を出したことによって、次の段階に進んでいることは明らかです。

地域の持続可能こそが重要

岩手県宮古市に重茂(おもえ)地区があります。生ワカメを作つています。このワカメを作つたために、お母さんたちは何をやつているのか。生分解性の石けんを生活クラブと一緒に作つてしているのです。重茂地区に、その先の自治体に持つていく。三つ目の方法が、自分たちでごみを処理する。この自治体は3番目の選択肢は三つ。1344人の自治体にごみの処理場を造る。もう一つがパッカー車を購入して、その先の自治体に持つていく。結果から言うと、日本中いや世界中から研究のために多くの人がやつてきていています。93%のリサイクル率になつたからです。分別は48種類。そうすることによって、自治体にリサイクルの費用が入つてくる仕組みです。最初は、住民から嫌がられました。でも、注目を集めたり、楽しんでやるようになって、今では住民の誇りになつたそうです。今春立ち上がつたWHYといふことについて、そこまで広がりました。

よく目にするのは、SDGスインデックス。通知表です。縦軸に17個のゴール。横軸に自分たちができそうなこととか寄付をばつと並べて、過去10年間でやつたこと、通知表を並べること。これは世界的には何の意味もありません。解決しなければいけない課題に対する宣言して、それを追い掛けている姿を見せ続ける、未来を追い続ける姿こそがSDGsです。

ESG投資は、なんと世界に1兆円あります。ただ、これは1兆円を動かすという宣言です。実際に市場に流れている金額は、390兆円ぐらいしかないです。まだ6割が、使えずに置いてある。皆さんのが社会課題を解決していくので、今年の5月に法律ができました。来年4月に施行されます。流域治水を130年間、国土交通省はセメントでクリアしてきましたが、人が動かない無理だという結果を考えましょう。

流域治水被害ゼロ。これは来年4月に施行されます。川の流域治水を130年間、国土交通省はセメントでクリアしてきましたが、人が動かない無理だという結果を考えます。

生ごみゼロ。生ごみは水分が9割で、燃やすには助燃材が必要です。その費用が年間1兆円。生ごみを出さずにたい肥などにすれば、みんなで1兆円を浮かせられ、地域能こそが県を支え、日本を支えます。地域からリスタートしませんかというのが、僕の提案です。

九州というこのエリアから日本を変えていきましょう。それはきっとアジアに広がり、やがて世界に広がっていくはずです。ぜひ、今日ここにいる皆さんから明るい未来を創りあげていってください。

流域治水被害ゼロ。これは来年4月に施行されます。川の流域治水を130年間、国土交通省はセメントでクリアしてきましたが、人が動かない無理だという結果を考えます。

未利用獣ゼロ。年間120万頭のうち、食べられているのは10%です。90%を使い切る。抗生素質が入っていない、すごいオーガニックな肉をちゃんと食べない手はありません。

う複合施設が世界の建築賞のサスティナブル部門で最優秀賞を獲得し、さらにその勢いは増すことは間違ひありません。

同じ徳島県に神山町があります。そのうちの一つがサンサン。この会社は、ここを拠点に事業を膨らませました。移住者が増えています。どうやってその自治体が成功したのかを見に来る人たちがいました。ベンチャーや幾つか来ました。そのうちの一つがサンサン。この会社は、ここを拠点に事業を展開する。この自治体は3番目の選択肢は三つ。1344人の自治体にごみの処理場を造る。もう一つがパッカー車を購入して、その先の自治体に持つていく。結果から言うと、日本中いや世界中から研究のために多くの人がやつてきていています。93%のリサイクル率になつたからです。分別は48種類。そうすることによって、自治体にリサイクルの費用が入つてくる仕組みです。最初は、住民から嫌がられました。でも、注目を集めたり、楽しんでやるようになって、今では住民の誇りになつたそうです。今春立ち上がつたWHYといふことについて、そこまで広がりました。

地域が無ければ大企業や上場企業も成立しません。地域の持続可能なことが県を支え、日本を支えます。地域からリスタートしませんかというのが、僕の提案です。

いしかわ じゅんや
石川 淳哉

1962(昭和37)年、大分県生まれ。世界のさまざまな社会課題を解決するために、クリエイティブの可能性を追求する人生と決断。主な仕事に、ベストセラー書籍『世界がもじ100人の村だったら』の宣伝担当、3.11情報支援サイト「助けあいジャパン」などのブロデュースなどがある。カンヌライオンズ金賞、NYADCなど受賞。東京と2拠点生活の御殿場で無農薬農園を仲間と運営するなど、暮らし方の社会実験を推進中。防災士。

茂地区の湾に家庭排水を流して、家庭全部に石けんを買つてもらって、洗濯も食器も、すべてその石けんで洗います。重茂地区は徹底的にやつてないので、海がきれいなのです。重茂の漁師の方の家は、だいたい3世代、4世代で住んでいて、世帯年収は3000万円を超えています。この地域はすごい活動です。重茂の漁師の方の家は、だいたい3世代、4世代で住んでいて、世帯年収は3000万円を超えています。この地域はすごい活動です。

徳島県上勝町。平成の大合併のときに、合併したくないと断つた町です。そうしたら、ごみ収集車はやらない、と言われたそうです。自治体の選択肢は三つ。1344人の自治体にごみの処理場を造る。もう一つがパッカー車を購入して、その先の自治体に持つていく。結果から言うと、日本中いや世界中から研究のために多くの人がやつてきていています。93%のリサイクル率になつたからです。分別は48種類。そうすることによって、自治体にリサイクルの費用が入つてくる仕組みです。最初は、住民から嫌がられました。でも、注目を集めたり、楽しんでやるようになって、今では住民の誇りになつたそうです。今春立ち上がり始めたWHYといふことについて、そこまで広がりました。

地域が無ければ大企業や上場企業も成立しません。地域の持続可能なことが県を支え、日本を支えます。地域からリスタートしませんかというのが、僕の提案です。

福岡、もしくは九州で、災害死ゼロにするにはどうしたらいいのか考えて始めてください。その中に自分たちの事業は関係あるのか、ちょっとと考えてみてください。絶対あります。

災害関連死ゼロ。熊本地震のときに、270人亡くなつたうちの50人が災害死で、220人は助かつたけど亡くなりました。災害関連死です。地球のせいではありません。人のせいです。これを何とか解決するためには何ができるかを考えましょう。

流域治水被害ゼロ。これは来年4月に施行されます。川の流域治水を130年間、国土交通省はセメントでクリアしてきましたが、人が動かない無理だという結果を考えます。

生ごみゼロ。生ごみは水分が9割で、燃やすには助燃材が必要です。その費用が年間1兆円。生ごみを出さずにたい肥などにすれば、みんなで1兆円を浮かせられ、地域課題解決にも使えます。

九州というこのエリアから日本を変えていきましょう。それはきっとアジアに広がり、やがて世界に広がっていくはずです。ぜひ、今日ここにいる皆さんから明るい未来を創りあげていってください。

新規会員(50音順)

(株)西日本新聞プロダクト 執行役員 営業本部長

会員異動(50音順)

九州旅客鉄道(株)	広報部 部長
(株)九電工	専務執行役員 福岡支店長
(株)金陽社	福岡営業所 所長
西部ガス(株)	常務執行役員営業本部営業計画部長
サカタインクス(株)	九州支社 支社長
第一生命保険(株)	西日本営業局長
(株)西日本シティ銀行	取締役常務執行役員本店営業部長兼福岡支店長
日本製紙(株)	九州営業支社 支社長
日本紙運輸倉庫(株)	九州支店長
西日本電信電話(株)	執行役員 九州支店長
(株)乃村工藝社	九州支店 支店長
日立ソリューションズ西日本	第1営業本部 本部長
(株)福岡銀行	執行役員
福岡倉庫(株)	梱包輸送部福岡営業所 所長
丸住製紙(株)	九州支店長
みずほ証券(株)	福岡支店 支店長
みずほ信託銀行(株)	執行理事福岡支店長
(株)三好不動産	社長室 室長

武辺 孝生氏

久野 和代氏
北川 忠嗣氏
井本 敏明氏
上野 俊幸氏
秋山 直人氏
千葉 昌史氏
森元 賢治氏
岩下 晋也氏
壁谷 宗和氏
梶原 全裕氏
矢倉 民雄氏
竹本 孝義氏
熊本 卓司氏
堀川 俊也氏
高橋 一博氏
稻谷 英城氏
伊藤 健一氏
樋口 朋晃氏



2021年度西日本新聞社パートナーズクラブ収支報告

(単位:円・税込)

収入の部			支出の部		
収入項目	金額	備考	支出項目	金額	備考
前期繰越金	2,562,573		講師関連費	69,518	講師謝礼他
通常会費	3,258,000		会場費	801,122	例会・交流会など(食事代含む)
特別会費	0		制作費	108,200	会報誌制作代、HP更新代
広告料	1,716,000	新年名刺広告	通信交通費	72,836	例会案内・会報誌等発送代他
			備人費	550,000	事務スタッフ派遣料分担金
			会議費	224,605	役員会他
			課外活動費	1,528,632	合同研修会(朝倉・唐津)、展覧会招待
			事務費	3,809	事務用品等分担金
			その他支出	1,395,140	新年名刺広告料他
			名刺交換会	0	
			小計	4,753,862	
			次期繰越金	2,782,711	
合計	7,536,573		合計	7,536,573	

収支の関係書類を点検した結果、適正に処理されていることを確認しました。

2022年 5月 6 日

監査 (株)ハダ工芸社
波田 英次

2022年 5月 16 日

監査 日本製紙(株)
山崎 大輔

2022年度 パートナーズクラブ 役員

役職名	氏名	会社名・団体名	所属・役職
会長	並田 正一	西研グラフィックス(株)	代表取締役会長
副会長	新井 洋子	エントリーサービスプロモーション(株)	代表取締役社長
副会長	金子 直幹	福岡昭和タクシー(株)	代表取締役社長
幹事	石川たかね	西日本鉄道(株)	執行役員 広報・CS推進部長
幹事	臼方 勝三	富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)	九州支店長
幹事	齊藤 秀和	(株)竹中工務店	営業部 部長
幹事	貞刈 厚仁	(株)博多座	代表取締役社長
幹事	能見 和司	(株)Q T n e t	取締役会長
幹事・新	北川 忠嗣	(株)九電工	専務執行役員福岡支店長
幹事・新	熊本 卓司	(株)福岡銀行	執行役員
幹事・新	樋口 朋晃	(株)三好不動産	社長室 室長
監査	波田 英次	(株)ハダ工芸社	代表取締役
監査・新	岩下 晋也	日本製紙(株)	九州営業支社長